

さいたま市立桜山中学校 桜山中だより

学校教育目標 「学べ 磨け 輝け」 校訓「自主創造」

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺 684-1 電話 048-794-4061



令和8年10月号

令和8年 10月1日発行

1年22人 2年32人 3年32人

地域の宝・子どもたちの輝く姿を支える温かなまなざし

校長 五十嵐 紀子

10月に入ってもなお雨の続く日が続いておりますが、校門前で生徒たちを迎えていると、心地よいキンモクセイの香りが漂い、とても晴れやかな気分になさしてくれます。桜の木の根元ではかわいらしい曼珠沙華が風に揺れています。秋晴れが待ち遠しい今日この頃ですが、朝夕の肌寒さの中に確かな季節の深まりを感じます。秋風の心地よさとともに、生徒たちの登下校の姿もどこか軽やかになったように感じます。

毎月実施している東岩槻地区「笑顔の架け橋」プロジェクトの挨拶運動では、地域の皆様のご協力のもと校門で挨拶を交わしております。

以前より大きな声で挨拶する生徒や、声だけでなく丁寧なお辞儀をする生徒など、頼もしい成長が見られます。9月の校長講話では、近年頻発する自然災害に触れ、「日頃から地域の方々と挨拶を交わし、顔の見える関係を築くことが、いざという時の支え合いや防災につながる」と話しました。挨拶を通して、地域とともに生きることの大切さを理解してほしいと願っております。

さて、過日開催されました「東岩槻まつり」に参加いたしました。お神輿の担ぎ手として初参加をする生徒もあり、私も楽しみにその姿を見守っていました。最初は遠慮がちだった生徒たちも、次第に雰囲気に関わり込み、大きな掛け声とともに力強く神輿を担ぐようになりました。重さに耐えながら最後までやり遂げた生徒たちの表情には、大きな達成感があふれていました。また、雨天のため急遽本校体育館で実施された吹奏楽部の演奏には、多くのお客様にご来校いただきました。観客として来ていた生徒たちがスリッパの貸し出し等を行い、臨機応変に地域のため行動する姿に大変嬉しくなりました。司会を務め会場を円滑に運営した生徒にも、地域の方からお褒めの言葉をいただきました。



【雨の合間にできたお神輿】



【吹奏楽部による演奏】

今月開催される「東岩槻フェスティバル」の実行委員会に参加した際にも、子どもたちのために真摯に話し合う地域の皆様の姿に触れ、「子どもファースト」の思いと温かなまなざしを強く感じました。地域の皆様の支えによって生徒たちは育まれているのだと、改めて実感いたしました。

先月の「人権教室」では人権擁護委員協議会より3名の講師の方をお迎えし、困った際には保護者の方や先生以外にも頼れる存在がいることをお話しいただきました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。子どもは「地域の宝です。本校でもボランティアや演奏活動に参加しながら、今後も家庭・地域・学校が一体となり、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。また、さいたま市中学校新人体育大会でのご声援と見守りにも感謝いたします。生徒たちの真剣な姿は多くの感動を届けてくれました。次は10月31日（土）開催の『桜山音楽祭』です。日頃の成果を存分に発揮できるよう準備を進めておりますので、生徒たちの輝く姿に温かなご声援を賜りますようお願いいたします。